

I-4 日本人の旅行に対する意識

1 行ってみたい旅行

行ってみたい旅行先(国内)は北海道、沖縄県、京都府
行ってみたい旅行先(海外)は、ハワイ、アメリカ合衆国本土、イタリア
行ってみたい旅行タイプは温泉、自然、グルメ

ここでは、日本人の行ってみたい旅行について詳しくみていく。なお、ここで分析に用いたデータは、全て「JTBF旅行意識調査」に基づいている。

(1) 行ってみたい旅行先(国内旅行・海外旅行)

「今後1~2年の間に行ってみたい国内旅行及び海外旅行の旅行先(国、都市、観光スポット)」について、具体的な地名を国内・海外それぞれ行きたい順に3つまで自由に回答してもらった(表I-4-1)。ただし、最も行きたい地域を3ポイント、

2番目に行きたい地域を2ポイント、3番目に行きたい地域を1ポイントとして、その合計値をランキングにしている。

その結果、国内では北海道が最も高く、初回調査時(1988年)より連続して連続首位を維持している。次いで沖縄県、京都府、東京都、大阪府の順となり、沖縄県以降については、都市部が続いた。

2018年の結果と比較すると、昨年度順位を上げた鹿児島県(2016年13位)が、さらに順位を上げた。屋久島に続き、奄美大島や与論島など、2017年に国立公園に指定された奄美群島に属する島の回答が多くみられた。また、同様に昨年度順位を上げた長崎県(2016年12位)が、さらに順位を上げた。具体的には、五島列島やハウステンボス、軍艦島などさまざまな具体的なスポットの回答がみられた。

海外では、ハワイが最も高く、続いてアメリカ合衆国本土、イタリアとなった。

表I-4-1 行ってみたい旅行先

国内旅行

順位	2018年		2017年	
	地域名	合計ポイント	地域名	合計ポイント
1位	北海道	1,647	北海道	1,591
2位	沖縄県	1,204	沖縄県	1,203
3位	京都府	523	京都府	547
4位	東京都	284	東京都	354
5位	大阪府	241	大阪府	283
6位	九州地方	230	九州地方	257
7位	鹿児島県	187	石川県	210
8位	石川県	171	千葉県	204
9位	長崎県	169	鹿児島県	194
10位	千葉県	164	長崎県	174
11位	長野県	148	東北地方	158
12位	東北地方	134	広島県	137
13位	四国地方	132	静岡県	129
14位	静岡県	129	長野県	123
15位	広島県	111	四国地方	116
16位	三重県	103	三重県	114
17位	島根県	100	福岡県	112
18位	青森県	99	青森県	100
19位	大分県	98	神奈川県	92
20位	福岡県	92	大分県	82
21位	神奈川県	74	奈良県	79
22位	和歌山県	71	栃木県	78
23位	栃木県	69	富山県	72
24位	熊本県	67	兵庫県	71
25位	兵庫県	62	島根県	70
26位	宮城県	60	宮城県	63
27位	奈良県	58	熊本県	60
28位	新潟県	57	岐阜県	56
29位	富山県	56	新潟県	49
30位	宮崎県	54	群馬県	47

海外旅行

順位	2018年		2017年	
	地域名	合計ポイント	地域名	合計ポイント
1位	ハワイ	1,019	ハワイ	1,071
2位	アメリカ合衆国本土	428	イタリア	448
3位	イタリア	424	アメリカ合衆国本土	426
4位	オーストラリア	340	フランス	343
5位	フランス	318	オーストラリア	317
6位	台湾	268	グアム	289
7位	カナダ	238	台湾	274
8位	イギリス	229	カナダ	225
9位	グアム	215	イギリス	180
10位	韓国	206	スイス	176
11位	シンガポール	196	スペイン	156
12位	スイス	189	韓国	147
13位	スペイン	166	ヨーロッパ	132
14位	ドイツ	158	シンガポール	126
15位	中国	117	ドイツ	117
16位	タイ	115	バリ島	88
17位	ニュージーランド	102	ニュージーランド	85
18位	ヨーロッパ	94	タイ	77
19位	バリ島	72	ベトナム	76
20位	エジプト	59	中国	59
21位	トルコ	58	エジプト	57
22位	ベトナム	53	香港	51
23位	オーストリア	44	モルディブ	42
24位	フィンランド	42	カンボジア	38
24位	ペルー	42	ペルー	38
26位	インド	37	フィンランド	33
27位	アラブ首長国連邦	34	オーストリア	33
27位	ロシア	34	ギリシャ	32
29位	タヒチ	32	トルコ	32
30位	オランダ	30	マレーシア	31

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

(2) 行ってみたい旅行タイプ

「今後1~2年の間に行ってみたい国内旅行及び海外旅行の旅行タイプ」として当てはまるものを選択肢一覧表(表I-4-2)から全て選んでもらった結果、行ってみたい旅行タイプ(複数回答)は、「温泉旅行」(47.4%)を筆頭に、「自然観光」(46.5%)、「グルメ」(40.6%)、「歴史・文化観光」(38.5%)の順となった(図I-4-1)。

表I-4-3では、性・年代別にランキング形式で示している。男性では、どの年代でも「自然観光」の人气が高く、上位3位以内に挙がっている。50代以上では、「自然観光」に加え、「温泉旅行」が上位を占める。

女性では、20代・30代・40代において「グルメ」、「テーマパーク」、「温泉旅行」が上位3位以内に挙がっている。

50代以上では、「自然観光」の人气が高く、1位または2位の座を占めている。

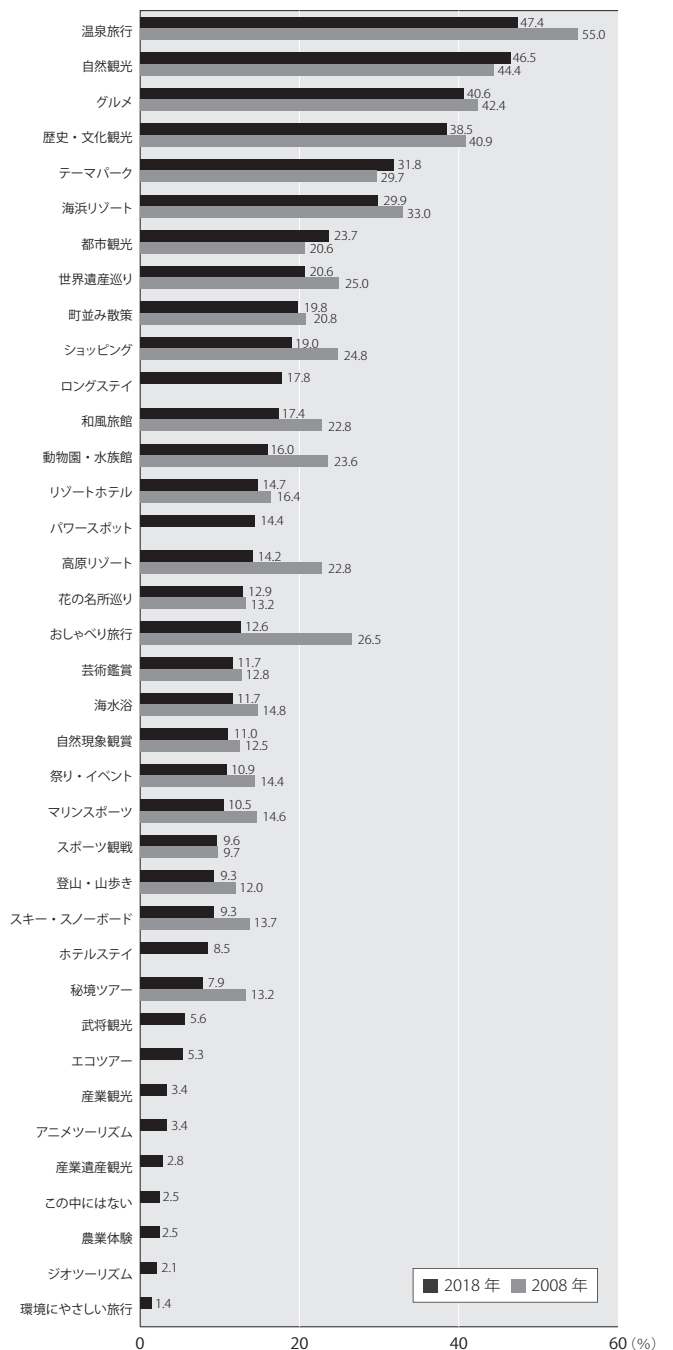
また、表I-4-3における性・年代別のランキングを、2018年と2008年で比較すると、全体でポイント上げた「テーマパーク」については、男性の30代、40代、50代、女性の40代、50代で順位を大きく上げている。同様に全体で大きく順位を上げた「都市観光」(2008年13位)については、男性の40代以下で大きく上昇している。また、全体で大きくポイント下げた「温泉旅行」については、男性20代、30代、40代で大きく順位を落としている。

表I-4-2 行ってみたい旅行タイプ 選択肢一覧

順位	旅行タイプ名	内容
1	自然観光	自然や景勝地を見てまわる観光旅行
2	歴史・文化観光	歴史や文化的な名所を見てまわる観光旅行
3	海浜リゾート	海辺でゆったり過ごす旅行
4	高原リゾート	高原でゆったり過ごす旅行
5	都市観光	街や都市で楽しむ旅行
6	温泉旅行	温泉を楽しむ旅行
7	祭り・イベント	祭りやイベントを楽しむ旅行
8	テーマパーク	テーマパークや遊園地で楽しむ旅行
9	動物園・水族館	動物園や水族館で楽しむ旅行
10	グルメ	おいしいものを食べる旅行
11	スキー・スノーボード	スキーを楽しむ旅行
12	マリンスポーツ	マリンスポーツを楽しむ旅行
13	登山・山歩き	登山や山歩きを楽しむ旅行
14	海水浴	海水浴を楽しむ旅行
15	ショッピング	ショッピングを楽しむ旅行
16	芸術鑑賞	演劇、音楽、展覧会等を楽しむ旅行
17	スポーツ観戦	スポーツ観戦を楽しむ旅行
18	花の名所巡り	桜やハーブなどの花の名所を訪ねる旅行
19	自然現象観賞	珍しい自然現象を見に行く旅行
20	秘境ツアー	秘境を訪ねる旅行
21	町並み散策	美しい町並みを楽しむ旅行
22	リゾートホテル	リゾートホテルに泊まる旅行
23	和風旅館	落ち着いた和風旅館に泊まる旅行
24	おしゃべり旅行	仲間や家族と楽しく過ごす旅行(みるもの、遊ぶものにはこだわらない)
25	世界遺産巡り	世界遺産を巡る旅行
26	ロングステイ	ロングステイを楽しむ旅行
27	パワースポット	神秘的な力・エネルギーの宿る場所を訪れる旅行
28	ホテルステイ	ホテルの旅館内での滞在そのものを主目的とした旅行
29	環境にやさしい旅行	旅行中に排出したCO2を減らすための料金負担など、環境に配慮した旅行
30	エコツアー	自然を楽しみ、自然や環境を学ぶ旅行
31	農業体験	農山漁村などの環境やふるさと体験を楽しむ旅行
32	産業観光	工場見学やものづくり現場の見学・体験を楽しむ旅行
33	産業遺産観光	鉱山や紡績場などかつて栄えた産業跡を訪れる旅行
34	武将観光	戦国武将にまつわる名所・旧跡を訪れる旅行
35	ジオツーリズム	地質や地形など地球科学的な現象に対する理解を深める旅行
36	アニメツーリズム	アニメマンガに関連する場所や施設、イベントを楽しむ旅行
37	この中にはない/旅行には行かない	

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

図I-4-1 行ってみたい旅行タイプ(複数回答)



資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

表I-4-3 性・年代別行ってみたい旅行タイプ 選択肢一覧(単位：%)

男性20代

		2018年	2008年	
1位	自然観光	37.4	30.7	(5位)
2位	歴史・文化観光	36.4	39.5	(2位)
3位	グルメ	35.4	38.6	(3位)
4位	温泉旅行	31.3	50.9	(1位)
5位	都市観光	29.3	22.8	(10位)
6位	テーマパーク	28.3	30.7	(5位)
7位	世界遺産巡り	19.2	19.3	(13位)
8位	スキー・スノーボード	17.2	29.8	(7位)
	海水浴		14.0	(18位)
10位	動物園・水族館	15.2	21.9	(11位)

男性30代

		2018年	2008年	
1位	自然観光	44.3	40.7	(4位)
2位	歴史・文化観光	35.8	35.5	(5位)
	テーマパーク		35.0	(6位)
4位	都市観光	34.9	26.6	(9位)
	温泉旅行		52.8	(1位)
6位	グルメ	34.0	48.6	(2位)
7位	海浜リゾート	33.0	41.1	(3位)
8位	ショッピング	19.8	22.0	(13位)
9位	スポーツ観戦	18.9	20.1	(15位)
10位	海水浴	17.9	26.2	(10位)

男性40代

		2018年	2008年	
1位	テーマパーク	50.0	35.9	(6位)
2位	自然観光	44.0	42.7	(2位)
3位	グルメ	40.5	41.4	(3位)
4位	海浜リゾート	38.8	40.0	(4位)
5位	温泉旅行	37.9	47.7	(1位)
6位	歴史・文化観光	31.9	38.2	(5位)
7位	都市観光	24.1	16.8	(16位)
	ロングステイ		調査なし	
9位	海水浴	20.7	20.0	(11位)
10位	世界遺産巡り	19.0	24.1	(9位)

男性50代

		2018年	2008年	
1位	温泉旅行	54.8	51.0	(1位)
2位	自然観光	46.2	46.6	(2位)
3位	グルメ	41.3	32.0	(4位)
4位	海浜リゾート	39.4	27.1	(5位)
	歴史・文化観光		40.1	(3位)
6位	テーマパーク	31.7	11.7	(15位)
7位	世界遺産巡り	26.0	22.3	(6位)
8位	高原リゾート	20.2	21.9	(7位)
9位	町並み散策	19.2	19.4	(8位)
10位	都市観光	18.3	16.2	(11位)

男性60代

		2018年	2008年	
1位	自然観光	52.2	53.6	(2位)
2位	温泉旅行	43.5	57.6	(1位)
3位	歴史・文化観光	38.3	43.8	(3位)
4位	グルメ	35.7	32.1	(4位)
5位	世界遺産巡り	23.5	21.4	(5位)
6位	町並み散策	22.6	21.4	(5位)
7位	海浜リゾート	21.7	17.0	(11位)
8位	ロングステイ	16.5	調査なし	
9位	高原リゾート	15.7	13.8	(14位)
	和風旅館		20.1	(7位)

男性70代

		2018年	2008年	
1位	温泉旅行	60.3	50.4	(1位)
2位	自然観光	53.4	49.6	(2位)
3位	歴史・文化観光	45.2	43.8	(3位)
4位	グルメ	26.0	23.1	(4位)
5位	世界遺産巡り	23.3	21.5	(5位)
6位	町並み散策	21.9	19.0	(6位)
7位	花の名所巡り	19.2	13.2	(10位)
8位	和風旅館	16.4	19.0	(6位)
9位	登山・山歩き	15.1	7.4	(17位)
	自然現象観賞		4.1	(23位)

女性20代

		2018年	2008年	
1位	グルメ	60.9	57.6	(2位)
2位	テーマパーク	58.6	55.2	(3位)
3位	温泉旅行	49.4	60.6	(1位)
4位	自然観光	44.8	35.5	(10位)
5位	歴史・文化観光	41.4	41.9	(6位)
	ショッピング		52.2	(4位)
7位	都市観光	35.6	39.4	(7位)
8位	ロングステイ	28.7	調査なし	
9位	町並み散策	26.4	22.7	(16位)
10位	海水浴	24.1	29.1	(12位)

女性30代

		2018年	2008年	
1位	温泉旅行	59.0	57.6	(2位)
2位	グルメ	53.3	50.0	(3位)
	テーマパーク		58.8	(1位)
4位	自然観光	47.5	41.2	(7位)
5位	歴史・文化観光	38.5	41.8	(5位)
6位	海浜リゾート	36.9	46.5	(4位)
7位	都市観光	31.1	27.5	(11位)
	動物園・水族館		41.5	(6位)
9位	ショッピング	27.0	41.2	(7位)
10位	ロングステイ	23.0	調査なし	

女性40代

		2018年	2008年	
1位	テーマパーク	51.9	58.8	(4位)
2位	グルメ	48.8	50.0	(2位)
3位	温泉旅行	45.0	55.7	(1位)
4位	自然観光	40.3	44.7	(5位)
5位	歴史・文化観光	37.2	39.7	(6位)
6位	海浜リゾート	34.1	47.9	(3位)
7位	ショッピング	31.8	36.5	(7位)
8位	都市観光	29.5	26.2	(12位)
9位	パワースポット	23.3	調査なし	
10位	町並み散策	19.4	25.5	(14位)

女性50代

		2018年	2008年	
1位	自然観光	50.4	48.1	(2位)
2位	温泉旅行	47.9	55.4	(1位)
3位	歴史・文化観光	42.7	44.2	(3位)
4位	グルメ	40.2	42.5	(4位)
5位	海浜リゾート	33.3	24.6	(8位)
6位	町並み散策	29.9	25.3	(7位)
7位	テーマパーク	27.4	22.5	(12位)
8位	都市観光	25.6	17.2	(15位)
9位	世界遺産巡り	23.9	30.9	(5位)
10位	ショッピング	22.2	23.9	(9位)

女性60代

		2018年	2008年	
1位	温泉旅行	52.5	58.8	(1位)
2位	自然観光	50.8	58.2	(2位)
3位	グルメ	38.5	37.3	(4位)
4位	歴史・文化観光	35.2	44.6	(3位)
5位	花の名所巡り	25.4	25.4	(6位)
6位	和風旅館	22.1	19.8	(10位)
	おしゃべり旅行		21.5	(9位)
8位	町並み散策	21.3	23.7	(7位)
9位	海浜リゾート	18.9	9.0	(19位)
	世界遺産巡り		31.1	(5位)

女性70代

		2018年	2008年	
1位	温泉旅行	59.1	60.5	(1位)
2位	自然観光	46.4	39.5	(2位)
	歴史・文化観光		37.7	(3位)
4位	花の名所巡り	34.5	21.9	(8位)
5位	グルメ	29.1	31.6	(4位)
6位	世界遺産巡り	24.5	20.2	(9位)
7位	町並み散策	23.6	22.8	(6位)
8位	和風旅館	22.7	31.6	(4位)
9位	おしゃべり旅行	18.2	22.8	(6位)
10位	芸術鑑賞	16.4	16.7	(11位)

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

(3) 旅行タイプ別の行ってみたい旅行先

ここでは、行ってみたいと回答した旅行タイプについて、それぞれの行ってみたい旅行先を国内・海外問わずに自由に回答してもらい、それらの回答を国内は都道府県別（または地方別）、海外は国別（または島別）に整理して集計した（表I-4-4、表I-4-5）。

自然観光では、「北海道」が最も多く、2位以下を大きく引き離す結果となっている。

歴史・文化観光では、「京都府」が圧倒的なシェアを占め1位となり、次いで「イタリア」が2位となっている。

海浜リゾートでは、「ハワイ」「沖縄県」の人气が高く、両者が7割を占める。

高原リゾートでは、「長野県」が半数以上を占め1位となっている。具体的な表記をみると、軽井沢や上高地など複数の具体的な地名がリゾートとしてあげられている。

都市観光では、「東京都」が最も多く、次いで「アメリカ合衆国本土」となっている。

温泉旅行では、由布院や別府など著名な温泉地を有する「大分県」が最も多く、次いで草津を有する「群馬県」が2位となっている。

祭り・イベントでは、ねぶた祭で知られる「青森県」が最も多く、次いで祇園祭ほか伝統的な祭りの多い「京都府」が2位となっている。

テーマパークでは、東京ディズニーリゾートが位置する「千葉県」が最も多く、次いでユニバーサル・スタジオ・ジャパンを有する「大阪府」となっている。2008年調査と比較すると、順位は変わっていないものの、「千葉県」のシェアが縮小し、「大阪府」のシェアが拡大していることがわかる。

動物園・水族館では、旭山動物園が位置する「北海道」が最も多く、次いで沖縄美ら海水族館を有する「沖縄県」となっている。2008年調査と比較すると、順位は変わっていないものの、半数以上を占めていた「北海道」のシェアが縮小し、「沖縄県」及び3位の「和歌山県」のシェアが拡大していることがわかる。

グルメでは、「北海道」が他を大きく引き離して1位となっている。2008年調査と比較すると、海外の地域については、「台湾」の順位が大きく上昇している。

スキー・スノーボードでは、「北海道」が最も多く、2位は「長野県」、3位は「カナダ」が続く。

マリンスポーツでは、「沖縄県」が約4割を占め1位、2位以下は「ハワイ」「グアム」をはじめとした海外の旅行先が上位を占める結果となっている。

登山・山歩きでは、富士山を有する「山梨県」「静岡県」が上位を占めている。

海水浴では、「沖縄県」「ハワイ」の人气が高く、3位に「グアム」が続いている。

ショッピングでは、「ハワイ」が最も多く、次いで「東京都」となっている。2008年調査と同様に、3位以降は海外の旅行先が上位を占めている。

芸術鑑賞では、「フランス」が最も多く、次いで「東京都」「アメリカ合衆国本土」「イタリア」「オーストリア」と海外の旅行先が上位を占めている。

スポーツ観戦では、「東京都」が最も多く、次いで「アメリカ合衆国本土」という結果となっている。

花の名所巡りでは、「北海道」が最も多く、2位以下に大きく差をつけている。2008年調査と比較すると、「京都府」のシェアが大きく減少している。

自然現象観賞は、「カナダ」が1位となり、「アラスカ」「フィンランド」が続き、オーロラ観賞で有名な地域が上位を占めた。

秘境ツアーでは、マチュピチュのある「ペルー」が最も多く、次いで知床を有する「北海道」が2位となっている。

町並み散策は、「京都府」が最も多く、「イタリア」が2位となっている。2008年調査と比較すると、2015年に北陸新幹線が開通した「石川県」の順位が大きく上昇している。

リゾートホテルは、「ハワイ」「沖縄県」の人气が高く、3位以下と大きく差をつけている。

和風旅館では、「京都府」が最も多く、次いで「石川県」となっている。

見るもの、遊ぶものにこだわらず、仲間や家族と楽しく過ごすおしゃべり旅行では、「静岡県」が多い。具体的な記述では、「伊豆半島」に関する回答が多い。

世界遺産巡りについては、世界遺産の登録数が最も多い「イタリア」が1位、次いで「フランス」という結果となっている。旅行先の上位は海外が占めている。

エコツアーでは、知床を有する「北海道」が最も多く、次いで屋久島を有する「鹿児島県」、小笠原を有する「東京都」が2位となっている。

ロングステイでは、「ハワイ」が最も多く、次いで「アメリカ合衆国本土」となっており、上位は海外が占めている。

パワースポットでは、伊勢神宮の位置する「三重県」が最も多く、屋久島を有する「鹿児島県」が続く。

産業遺産観光では、端島（軍艦島）を有する「長崎県」が最も多く、富岡製糸場と絹産業遺産群を有する「群馬県」が2位となっている。

ホテルステイでは、「ハワイ」が最も多く、次いで「沖縄県」が2位となる。

武将観光では、「宮城県」が最も多く、次いで「愛知県」「兵庫県」となっている。

表I-4-4 旅行タイプ別行ってみたい旅行先(2018年・2008年)(単位:%) 一次ページにつづく

自然観光

2018年(回答数:534)			2008年(回答数:1,040)		
1位	北海道	24.7	1位	北海道	25.9
2位	沖縄県	9.9	2位	オーストラリア	5.4
3位	鹿児島県	7.7	3位	カナダ	5.3
4位	ハワイ	5.4	4位	沖縄県	4.4
5位	カナダ	4.5	5位	鹿児島県	3.8

歴史・文化観光

2018年(回答数:464)			2008年(回答数:977)		
1位	京都府	33.8	1位	京都府	32.3
2位	イタリア	6.9	2位	イタリア	8.6
3位	奈良県	3.7	3位	奈良県	5.2
4位	広島県	3.2	4位	ヨーロッパ	4.8
5位	沖縄県、島根県	2.8	5位	中国	4.2

海浜リゾート

2018年(回答数:393)			2008年(回答数:808)		
1位	ハワイ	38.9	1位	ハワイ	28.2
2位	沖縄県	32.8	2位	沖縄県	27.8
3位	静岡県	3.8	3位	静岡県	5.3
4位	グアム	2.3	4位	グアム	4.2
5位	和歌山県、バリ島	1.8	5位	タヒチ	3.6

高原リゾート

2018年(回答数:175)			2008年(回答数:531)		
1位	長野県	62.9	1位	長野県	49.3
2位	山梨県	7.4	2位	栃木県	8.7
3位	栃木県	6.9	3位	北海道	7.5
4位	北海道	5.7	4位	スイス	6.2
5位	スイス	3.4	5位	山梨県	4.1

都市観光

2018年(回答数:296)			2008年(回答数:486)		
1位	東京都	27.7	1位	東京都	26.1
2位	アメリカ合衆国	11.5	2位	アメリカ合衆国	13.8
3位	大阪府	6.8	3位	フランス	7.0
4位	京都府	6.1	4位	イタリア	6.6
5位	フランス	5.1	5位	大阪府	5.8

温泉旅行

2018年(回答数:531)			2008年(回答数:1,277)		
1位	大分県	18.8	1位	大分県	16.0
2位	群馬県	12.8	2位	群馬県	9.6
3位	静岡県	9.0	3位	九州地方	9.2
4位	九州地方	7.2	4位	静岡県	8.5
5位	神奈川県	6.4	5位	北海道	7.6

祭り・イベント

2018年(回答数:136)			2008年(回答数:313)		
1位	青森県	19.1	1位	青森県	28.4
2位	京都府	9.6	2位	京都府	7.0
3位	北海道	7.4	3位	東北地方	6.4
4位	秋田県	6.6	4位	秋田県、北海道	5.8
5位	東京都	5.9			

テーマパーク

2018年(回答数:411)			2008年(回答数:734)		
1位	千葉県	37.2	1位	千葉県	49.3
2位	大阪府	33.6	2位	大阪府	12.5
3位	アメリカ合衆国	7.8	3位	東京都	11.9
4位	東京都	6.8	4位	アメリカ合衆国	10.6
5位	長崎県	6.6	5位	長崎県	1.5

動物園・水族館

2018年(回答数:196)			2008年(回答数:574)		
1位	北海道	32.1	1位	北海道	54.9
2位	沖縄県	24.5	2位	沖縄県	16.6
3位	和歌山県	10.2	3位	東京都、大阪府	3.7
4位	東京都	6.1			
5位	大阪府	3.1	5位	千葉県	2.6

グルメ

2018年(回答数:485)			2008年(回答数:987)		
1位	北海道	44.7	1位	北海道	49.6
2位	台湾	6.8	2位	韓国	5.0
3位	韓国	5.8	3位	大阪府	3.5
4位	大阪府	4.5	4位	イタリア	2.9
5位	福岡県	3.9	5位	京都府	2.7

スキー・スノーボード

2018年(回答数:123)			2008年(回答数:339)		
1位	北海道	37.4	1位	北海道	46.0
2位	長野県	29.3	2位	長野県	19.8
3位	カナダ	8.1	3位	新潟県	8.6
4位	新潟県	4.9	4位	カナダ	7.4
5位	スイス、鳥取県、福島県、山形県	2.4	5位	スイス、福島県	2.9

マリンスポーツ

2018年(回答数:136)			2008年(回答数:366)		
1位	沖縄県	41.9	1位	沖縄県	47.3
2位	ハワイ	25.7	2位	ハワイ	21.0
3位	グアム	9.6	3位	グアム	9.8
4位	オーストラリア、バリ島	2.9	4位	オーストラリア	6.0
			5位	サイパン	2.2

登山・山歩き

2018年(回答数:178)			2008年(回答数:276)		
1位	山梨県	18.0	1位	静岡県	20.7
2位	静岡県	17.4	2位	長野県	17.4
3位	長野県	15.2	3位	鹿児島県	8.0
4位	富山県	6.7	4位	スイス	5.4
5位	新潟県	4.5	5位	群馬県	4.7

海水浴

2018年(回答数:156)			2008年(回答数:357)		
1位	沖縄県	42.3	1位	沖縄県	32.5
2位	ハワイ	25.6	2位	ハワイ	23.8
3位	グアム	5.8	3位	千葉県	5.6
4位	千葉県	3.8	4位	静岡県	5.0
5位	和歌山県	3.2	5位	和歌山県	3.4

ショッピング

2018年(回答数:237)			2008年(回答数:602)		
1位	ハワイ	36.3	1位	ハワイ	28.1
2位	東京都	16.9	2位	東京都	15.6
3位	韓国	13.5	3位	フランス、韓国	6.8
4位	アメリカ合衆国	4.6			
5位	フランス	3.0	5位	イタリア	5.3

芸術鑑賞

2018年(回答数:147)			2008年(回答数:291)		
1位	フランス	21.8	1位	東京都	31.6
2位	東京都	17.0	2位	アメリカ合衆国	13.4
3位	アメリカ合衆国	11.6	3位	フランス	10.3
4位	イタリア	6.1	4位	オーストラリア	7.2
5位	オーストラリア	4.1	5位	イタリア	3.1

資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

表I-4-4 旅行タイプ別行ってみたい旅行先(2018年・2008年)(単位:%) 一つづき

スポーツ観戦

2018年(回答数:123)			2008年(回答数:225)		
1位	東京都	27.6	1位	アメリカ合衆国	29.8
2位	アメリカ合衆国	22.0	2位	東京都	15.6
3位	スペイン	8.9	3位	イギリス	8.9
4位	福岡県	4.9	4位	イタリア	5.8
5位	イギリス	4.1	5位	大阪府	4.0

花の名所巡り

2018年(回答数:135)			2008年(回答数:293)		
1位	北海道	26.7	1位	京都府	18.1
2位	青森県	8.9	2位	北海道	15.7
3位	京都府	5.9	3位	青森県	12.3
4位	茨城県、長崎県	4.4	4位	奈良県	7.8
			5位	静岡県	5.1

自然現象観賞

2018年(回答数:133)			2008年(回答数:288)		
1位	カナダ	12.8	1位	カナダ	16.0
2位	アラスカ、フィンランド	9.0	2位	アラスカ	14.6
			3位	フィンランド、北海道	6.3
4位	ヨーロッパ	6.0	5位	ノルウェー、北極、南極	4.2
5位	北海道	5.3			

秘境ツアー

2018年(回答数:99)			2008年(回答数:307)		
1位	ベルー	12.1	1位	鹿児島県	16.0
2位	北海道	9.1	2位	北海道	6.8
3位	沖縄県、鹿児島県、宮崎県	4.0	3位	ベルー	6.5
			4位	中南米	5.5
			5位	中国	4.9

町並み散策

2018年(回答数:243)			2008年(回答数:478)		
1位	京都府	17.7	1位	京都府	15.7
2位	イタリア	9.9	2位	イタリア	10.5
3位	石川県	7.4	3位	ヨーロッパ	6.9
4位	岡山県、岐阜県	5.8	4位	ドイツ	5.6
			5位	岡山県	5.2

リゾートホテル

2018年(回答数:190)			2008年(回答数:382)		
1位	ハワイ	23.7	1位	沖縄県	20.2
2位	沖縄県	17.4	2位	ハワイ	12.8
3位	北海道	9.5	3位	インドネシア	8.1
4位	長野県	6.8	4位	北海道	5.2
5位	シンガポール、パリ島	4.7	5位	長野県	5.0

和風旅館

2018年(回答数:183)			2008年(回答数:459)		
1位	京都府	26.8	1位	京都府	34.6
2位	石川県	18.0	2位	石川県	7.6
3位	神奈川県	6.6	3位	神奈川県	7.2
4位	静岡県	5.5	4位	静岡県、大分県	3.9
5位	大分県、長野県	4.9			

おしゃべり旅行

2018年(回答数:127)			2008年(回答数:600)		
1位	静岡県	7.9	1位	ハワイ	11.2
2位	神奈川県、京都府、ハワイ	6.3	2位	沖縄県	9.2
			3位	北海道	8.8
			4位	千葉県	4.3
5位	沖縄県、東京都	5.5	5位	東京都	3.3

世界遺産めぐり

2018年(回答数:240)			2008年(回答数:599)		
1位	イタリア	10.8	1位	エジプト	11.7
2位	フランス	9.6	2位	イタリア	10.9
3位	カンボジア、エジプト	6.3	3位	ベルー	8.8
			4位	ヨーロッパ	6.5
5位	スペイン	5.8	5位	トルコ	4.5

資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

表I-4-5 旅行タイプ別行ってみたい旅行先(18年)

エコツアー

2018年(回答数:50)			2018年(回答数:242)		
1位	北海道	16.0	1位	ハワイ	25.6
2位	鹿児島県、東京都	10.0	2位	アメリカ合衆国本土	8.3
			3位	オーストラリア	7.0
4位	沖縄県、静岡県、山梨県、ハワイ	6.0	4位	沖縄県	6.6
			5位	イギリス	5.8

パワースポット

2018年(回答数:155)			2008年(回答数:31)		
1位	三重県	14.8	1位	長崎県	29.0
2位	鹿児島県	12.9	2位	群馬県	25.8
3位	ハワイ	9.7	3位	島根県	9.7
4位	アメリカ合衆国本土	8.4	4位	神奈川県、北海道	6.5
5位	京都府	7.7			

ホテルステイ

2018年(回答数:91)			2018年(回答数:59)		
1位	ハワイ	14.3	1位	宮城県	10.2
2位	沖縄県	8.8	2位	愛知県、兵庫県	8.5
3位	北海道	5.5			
4位	神奈川県、静岡県、千葉県、シンガポール、パリ島	4.4	4位	岐阜県、栃木県、長野県、山梨県	6.8

資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

2 旅行の動機

旅行の動機は、「おいしいもの」「日常生活からの解放」

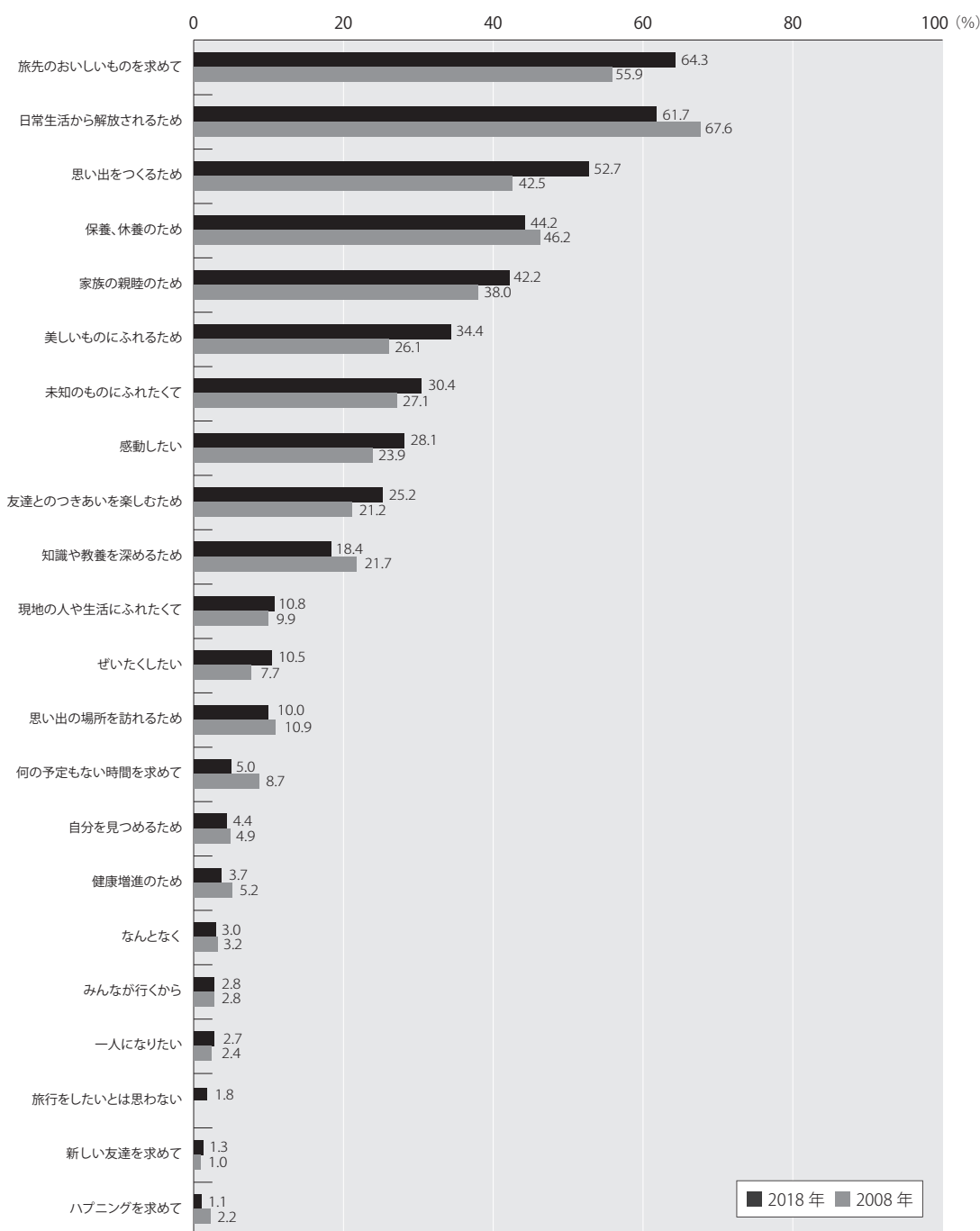
(1) 旅行の動機

「国内宿泊旅行、海外宿泊旅行をしてみたいと思う動機」として当てはまるものを、あらかじめ用意した選択肢から選んでもらった結果、旅行動機（複数回答）については、「旅先のおいしいものを求めて」が64.3%と最も多く、続いて「日常生活から解放されるため」61.7%、「思い出をつくるため」52.7%、「保養、休養のため」が44.2%となった（図I-4-2）。

08年調査と比較すると、「日常生活から解放されるため」「保養、休養のため」のように癒しを求める理由が減少した一方で、「旅先のおいしいものを求めて」「思い出をつくるため」「家族の親睦のため」などが増加した。

先に述べた上位4つの動機について、性・年代別に詳しくみると、「旅先のおいしいものを求めて」「日常生活から解放されるため」については、どの年代においても上位3位に入っている（表I-4-6）。「思い出をつくるため」は、20代・30代・40代で上位になっており、比較的若い世代での主な動機となっている。

図I-4-2 旅行の動機



資料：(公財) 日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

表I-4-6 性・年代別 旅行の動機(単位:%)

男性20代

		2018年	2008年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	60.6	41.2	(2位)
2位	日常生活から解放されるため	51.5	55.3	(1位)
3位	思い出をつくるため	48.5	36.8	(3位)
4位	友達とのつきあいを楽しむため	45.5	28.1	(5位)
5位	未知のものにふれたくて	39.4	21.1	(8位)
6位	美しいものにふれるため	33.3	18.4	(9位)
7位	保養、休養のため	32.3	34.2	(4位)
8位	感動したい	26.3	18.4	(9位)
9位	知識や教養を深めるため	21.2	26.3	(6位)
10位	家族の親睦のため	13.1	21.9	(7位)

男性30代

		2018年	2008年	
1位	思い出をつくるため	62.3	48.1	(3位)
2位	旅先のおいしいものを求めて	56.6	56.1	(2位)
3位	日常生活から解放されるため	53.8	70.6	(1位)
4位	家族の親睦のため	48.1	44.4	(5位)
5位	保養、休養のため	42.5	46.7	(4位)
6位	未知のものにふれたくて	32.1	29.4	(6位)
7位	美しいものにふれるため	24.5	14.0	(9位)
8位	感動したい	22.6	20.6	(7位)
9位	知識や教養を深めるため	21.7	19.6	(8位)
10位	友達とのつきあいを楽しむため	20.8	11.7	(11位)

男性40代

		2018年	2008年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	68.1	55.9	(2位)
2位	思い出をつくるため	62.9	42.7	(5位)
	日常生活から解放されるため	62.9	69.5	(1位)
4位	家族の親睦のため	56.0	49.5	(3位)
5位	保養、休養のため	49.1	44.5	(4位)
6位	未知のものにふれたくて	28.4	25.9	(6位)
7位	美しいものにふれるため	22.4	18.2	(9位)
8位	感動したい	22.4	19.1	(8位)
9位	知識や教養を深めるため	17.2	19.5	(7位)
10位	ぜいたくしたい	14.7	5.9	(14位)

男性50代

		2018年	2008年	
1位	日常生活から解放されるため	68.3	62.8	(1位)
2位	旅先のおいしいものを求めて	66.3	53.0	(2位)
3位	家族の親睦のため	59.6	41.3	(4位)
4位	思い出をつくるため	56.7	35.6	(5位)
5位	保養、休養のため	47.1	46.2	(3位)
6位	未知のものにふれたくて	30.8	29.6	(7位)
7位	感動したい	27.9	20.2	(9位)
8位	美しいものにふれるため	26.9	30.0	(6位)
9位	知識や教養を深めるため	23.1	26.3	(8位)
10位	友達とのつきあいを楽しむため	11.5	15.8	(10位)

男性60代

		2018年	2008年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	63.5	50.0	(1位)
2位	日常生活から解放されるため	53.9	48.7	(2位)
3位	保養、休養のため	45.2	42.0	(3位)
4位	美しいものにふれるため	40.9	27.2	(8位)
5位	家族の親睦のため	33.9	41.5	(4位)
	思い出をつくるため	33.9	33.0	(6位)
	未知のものにふれたくて	33.9	34.8	(5位)
8位	感動したい	28.7	20.5	(9位)
9位	知識や教養を深めるため	20.0	28.1	(7位)
10位	友達とのつきあいを楽しむため	15.7	20.1	(10位)

男性70代

		2018年	2008年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	50.7	34.7	(3位)
2位	家族の親睦のため	42.5	37.1	(1位)
3位	日常生活から解放されるため	39.7	34.7	(3位)
	保養、休養のため	39.7	35.5	(2位)
5位	思い出をつくるため	37.0	32.3	(5位)
6位	未知のものにふれたくて	30.1	31.5	(6位)
7位	美しいものにふれるため	28.8	20.2	(9位)
	友達とのつきあいを楽しむため	28.8	21.8	(8位)
9位	知識や教養を深めるため	24.7	31.5	(6位)
10位	感動したい	23.3	19.4	(11位)

女性20代

		2018年	2008年	
1位	思い出をつくるため	72.4	65.5	(3位)
2位	日常生活から解放されるため	70.1	73.9	(1位)
3位	旅先のおいしいものを求めて	65.5	66.0	(2位)
4位	保養、休養のため	43.7	50.7	(4位)
5位	家族の親睦のため	35.6	29.6	(6位)
6位	友達とのつきあいを楽しむため	33.3	27.6	(8位)
	美しいものにふれるため	33.3	24.6	(9位)
8位	未知のものにふれたくて	25.3	29.1	(7位)
9位	感動したい	24.1	33.5	(5位)
10位	ぜいたくしたい	23.0	17.2	(11位)

女性30代

		2018年	2008年	
1位	日常生活から解放されるため	75.4	83.9	(1位)
2位	思い出をつくるため	70.5	61.1	(3位)
3位	旅先のおいしいものを求めて	67.2	65.2	(2位)
4位	家族の親睦のため	45.9	45.6	(4位)
	保養、休養のため	45.9	51.2	(4位)
6位	未知のものにふれたくて	32.0	19.9	(8位)
7位	美しいものにふれるため	30.3	24.3	(6位)
8位	感動したい	23.8	23.1	(7位)
9位	友達とのつきあいを楽しむため	22.1	14.3	(9位)
10位	知識や教養を深めるため	13.1	13.2	(11位)

女性40代

		2018年	2008年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	70.5	62.1	(2位)
2位	日常生活から解放されるため	69.8	79.1	(1位)
3位	思い出をつくるため	65.9	47.5	(4位)
4位	家族の親睦のため	62.0	44.7	(5位)
5位	保養、休養のため	48.1	54.6	(3位)
6位	美しいものにふれるため	34.9	30.1	(6位)
7位	感動したい	32.6	24.8	(7位)
8位	未知のものにふれたくて	29.5	23.4	(8位)
9位	知識や教養を深めるため	14.7	19.1	(9位)
10位	友達とのつきあいを楽しむため	13.2	18.8	(10位)

女性50代

		2018年	2008年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	68.4	62.8	(2位)
2位	日常生活から解放されるため	66.7	76.1	(1位)
3位	保養、休養のため	49.6	52.6	(3位)
4位	思い出をつくるため	42.7	31.9	(6位)
5位	美しいものにふれるため	41.9	33.7	(4位)
6位	感動したい	37.6	30.9	(8位)
7位	家族の親睦のため	36.8	31.9	(6位)
8位	友達とのつきあいを楽しむため	26.5	33.3	(5位)
9位	未知のものにふれたくて	23.1	25.3	(9位)
10位	知識や教養を深めるため	20.5	20.0	(10位)

女性60代

		2018年	2008年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	67.2	53.1	(2位)
2位	日常生活から解放されるため	66.4	63.3	(1位)
3位	保養、休養のため	51.6	39.5	(3位)
4位	美しいものにふれるため	50.0	39.0	(4位)
5位	思い出をつくるため	41.0	24.3	(10位)
6位	家族の親睦のため	37.7	24.9	(9位)
7位	友達とのつきあいを楽しむため	36.9	32.2	(5位)
8位	感動したい	35.2	26.6	(7位)
9位	未知のものにふれたくて	33.6	30.5	(6位)
10位	知識や教養を深めるため	17.2	26.6	(7位)

女性70代

		2018年	2008年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	60.9	39.7	(2位)
2位	日常生活から解放されるため	52.7	51.2	(1位)
3位	友達とのつきあいを楽しむため	44.5	33.1	(4位)
4位	美しいものにふれるため	40.0	27.3	(6位)
5位	思い出をつくるため	34.5	27.3	(6位)
6位	保養、休養のため	33.6	33.9	(3位)
7位	家族の親睦のため	31.8	21.5	(10位)
8位	感動したい	28.2	27.3	(6位)
9位	未知のものにふれたくて	27.3	31.4	(5位)
10位	知識や教養を深めるため	20.9	24.8	(9位)

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

3 旅行の阻害要因

阻害要因は「休暇がとれない」「家計の制約」

「2017年1月～12月中に国内または海外旅行に行かなかった人」に「行かなかった」理由として当てはまるものをあらかじめ用意した選択肢から全て選んでもらった。

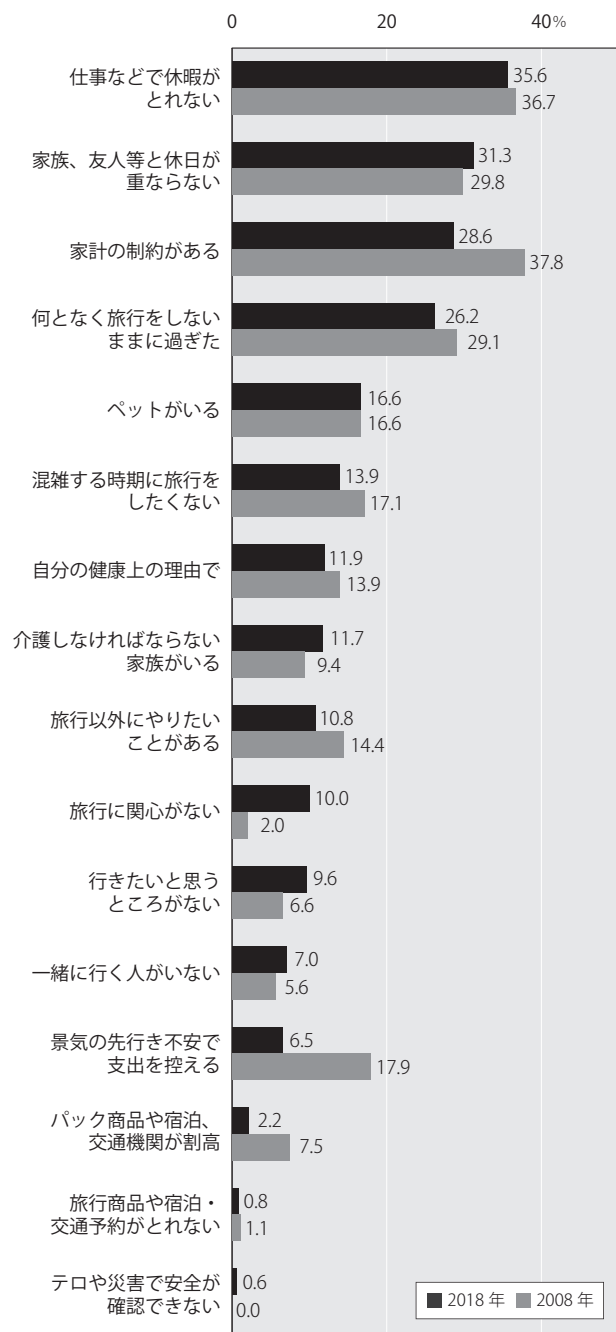
その結果、旅行の阻害要因（複数回答）は、全体では「仕事などで休暇がとれない」が35.6%と最も多く、これに「家族、友人等と休日が重ならない（31.3%）」、「家計の制約がある

（28.6%）」が続き、2008年調査の結果と比較するとシェアは下がったものの、『休暇』と『支出』に関する理由が多く選ばれた（図I-4-3）。

また、ライフステージ別に旅行の阻害要因をみると、子供なしの回答者よりも、子育て中の男女においては、「家計の制約がある」を回答する割合が高い。また、男性はライフステージにかかわらず、「仕事などで休暇がとれない」が上位に挙げられている（表I-4-7）。子育て中の女性については、その他として、「子供が小さいため」「妊娠中」という回答が挙げられた。

（伊豆 菜津美）

図I-4-3 旅行の阻害要因



資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

表I-4-7 ライフステージ別・旅行の阻害要因(単位:%)

男女・子供なし

2018年		2008年	
1位	仕事などで休暇がとれない 39.9	1位	家計の制約がある 41.2
2位	何となく旅行をしないままに過ぎた 29.0	2位	仕事などで休暇がとれない 33.3
3位	家計の制約がある 24.6	3位	ペットがいる 31.4

男性子育て中

2018年		2008年	
1位	仕事などで休暇がとれない 47.3	1位	仕事などで休暇がとれない 60.9
2位	家族、友人等と休日が重ならない 42.0	2位	家計の制約がある 49.6
3位	家計の制約がある 35.7	3位	家族、友人等と休日が重ならない 33.4

男性子育て後

2018年		2008年	
1位	仕事などで休暇がとれない 27.5	1位	何となく旅行をしないままに過ぎた 41.4
2位	家計の制約がある 25.0	2位	家計の制約がある 27.7
2位	何となく旅行をしないままに過ぎた 25.0	3位	仕事などで休暇がとれない 25.5

女性子育て中

2018年		2008年	
1位	家族、友人等と休日が重ならない 38.1	1位	家計の制約がある 49.5
2位	家計の制約がある 36.6	2位	家族、友人等と休日が重ならない 37.4
3位	仕事などで休暇がとれない 32.8	3位	仕事などで休暇がとれない 32.7

女性子育て後

2018年		2008年	
1位	何となく旅行をしないままに過ぎた 35.7	1位	家族、友人等と休日が重ならない 28.3
2位	家族、友人等と休日が重ならない 30.4	2位	家計の制約がある 27.6
3位	自分の健康上の理由で 25.0	2位	何となく旅行をしないままに過ぎた 27.6

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」